

ここが変わった、いまの学校

学校からなくなったもの

座高測定



チャイム



飼育小屋



二宮金次郎像

特別展 学校のいまとむかし

みんな子どもだった

令和6年9月29日(日)まで開催中

まなびや

時代とともに変わっていくのが学校。昭和や平成の学校では定番だったものが、令和の学校ではなくなっている学校アイテムがあります。定番をいくつか、紹介します。

【名札】二〇〇三(平成15)年の個人情報保護法施行や、全国的に多発する登下校時の連れ去り事件等の影響で、校外では付けなくなっています。

【あだ名】あだ名は、人との距離を縮めてくれますが、いじめを誘発する面もあるとして、「さん付け」で呼ぶようになってきています。

【連絡網】個人情報保護法の施行やプライバシーへの意識の高まり、メールの普及から、保護者の同意を得たり、作成しなくなったりにしています。

【チャイム】児童・生徒が自主的に行動できるよう「ノーチャイム制」を採る学校が多

くなりました。また、近隣騒音も配慮しているようです。

【牛乳瓶】衛生面や安全対策のため一九七〇年代から牛乳メーカーが紙パックに切り替え、一九八五(昭和60)年に瓶と逆転。現在では約9割の学校給食が紙パックになっています。

【アルコールランプ】爆発や引火の危険性があるとして、マツチやライターが不要の、理科実験用ガスコンロを採用しています。

【石綿網】石綿は吸入すると肺がんの原因になるとされ、一九八〇年代から使用禁止となり、現在はセラミックが主流になっています。

【消石灰】運動場のライン引きに使用されていた「消石灰」は強いアルカリ性で、目に入ると失明のリスクもあるため、二〇〇七(平成19)年に文部科学省から改善通知が出され、代用品が使われています。

【組み体操】後遺症の残る事故やけがが多発。そもそも文科省が定める学習指導要領にないため、近年行わない学校が増えています。

【うさぎ跳び】下半身の筋力強化に効果的とされた「うさ

ぎ跳び」。スポーツ医学の発達により、疲労骨折を誘発すると問題視され、一九八〇年代から禁止が叫ばれ、一九九〇年代にはほぼ見られなくなりました。

【腰洗い槽】厚生労働省の「遊泳用プールの衛生基準について」において、「腰洗い槽」の項がなくなり、二〇〇一(平成13)年頃から撤去が進みました。文科省の「学校環境衛生管理マニュアル」にも、循環ろ過機付きプールであれば、適切なシャワーで充分と記載されています。

【プールサイドの洗眼器】昭和・平成初期には必ずあった洗眼器。塩素洗浄や、感染症防止で使用しましたが、ゴーグルの普及や目の健康面などから急激に減っています。

【焼却炉】焼却時にダイオキシン発生の可能性が高いので、一九九七年文部省からの学校でのゴミ焼却抑制・廃止通知があり、姿を消しました。

【飼育小屋】校内の一角にあった小屋。鳥やウサギを飼育していて、夏休みなどの長期の休みのときは当番となった児童が交代で世話をしていました。その後、鳥インフルエ

ンザの影響、長期休業中の飼育などの問題で、徐々に飼う学校は減り、現在ではほとんど見かけなくなりました。

【給食】戦後の昭和時代では野菜を持ち寄り、保護者が交代で給食を作っていた時期もありました。主食はパンで、ミルク(脱脂粉乳)を飲んだほか、昭和40年代まではクジラ肉の献立がよく出ていました。パンが主の時代から、現在は米飯が基本となり、パンが出ない学校もあります。

懐かしい給食販売
揚げパンとお米のムース

人気No.1メニューの「きなこ揚げパン」と、県民伝説の給食デザート「お米のムース」※各1個のセットで¥300

【コッペ亭・委託限定販売】

▼販売日 9月8日(日)

9月22日(日)・9月29日(日) 11:00~13:00【数量限定】

▼注文方法 3日前までに直接受付か、電話、FAX、メールでお申し込みください。

※詳細はHPをご覧ください

